

<b>カウンセリング I</b>	単位数	履修方法	配当年次
	<b>1</b>	<b>S</b>	<b>1</b> 年以上
科目コード	<b>FG2682</b>	担当教員	<b>渡部 純夫 未富 美貴</b>

※「カウンセリングⅠ・Ⅱ」の履修の順序の指定はありません。Ⅰ・Ⅱのいずれを先に受けていただいても大丈夫です。

### ■スクーリングで学んでほしいこと

様々な援助活動があり、昨今「カウンセリング」という言葉自体が様々な使われ方をしている。心理学を基盤としたカウンセリングの専門的な理論と方法について学んでいく基礎として、カウンセリングの意味や特質などを学び、自分自身の人間観を理解することにより、援助者としての心構えを理論的理解から自分自身を振り返ることを目指してもらいたい。

### ■到達目標

- 1) カウンセリングの定義や特質を理解し、カウンセリングのベースになるものを説明できる。
- 2) カウンセリングの効果を理解し、援助する際の留意事項を説明できる。
- 3) 来談者中心療法の理論を理解し、人間観を身につける。

### ■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	カウンセリングの基本①	傾聴の意義と技法
2	カウンセリングの基本②	カウンセリングの意義
3	カウンセリングの基本③	カウンセリングのプロセス
4	カウンセリングの基本④	カウンセリングの効果
5	来談者中心療法と人間性心理学①	来談者中心療法の理論
6	来談者中心療法と人間性心理学②	来談者中心療法の方法
7	来談者中心療法と人間性心理学③	人間性心理学
8	質疑応答	
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。教科書も適宜使用します。途中、グループワークを行い理解を深めていただきます。

## ■スクーリング 評価基準

---

授業への参加態度 20% + スクーリング試験 80% (指定テキスト・配付物・自筆ノート持込可)

## ■スクーリング時の教科書（「産業カウンセリングⅠ」などと共通）

---

日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング（産業カウンセラー養成講座テキスト）』日本産業カウンセラー協会, 2013年 第3章 第4章

## ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

---

テキスト第3章 傾聴の意義と技法 p. 39～p. 64

テキスト第4章 カウンセリングの基本 p. 65～p. 96 を一読してくること。

## ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

---

講義のポイントである「傾聴」の意義と技法を理解してください。

自己理解を深めていってください。

## ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

---

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「共感と自他尊重に基づくコミュニケーション力」、「自己理解に基づくセルフコントロール力」、を身につけてほしい。

## ■参考図書

---

小松 紘・木村進編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学』八千代出版, 2009年